

2022/10/24(月)

24目標 入門・BM期 ホームルーム

担当：[財務理論・個別相談] 平林

後半1時間Q&A:財務計算 小野講師

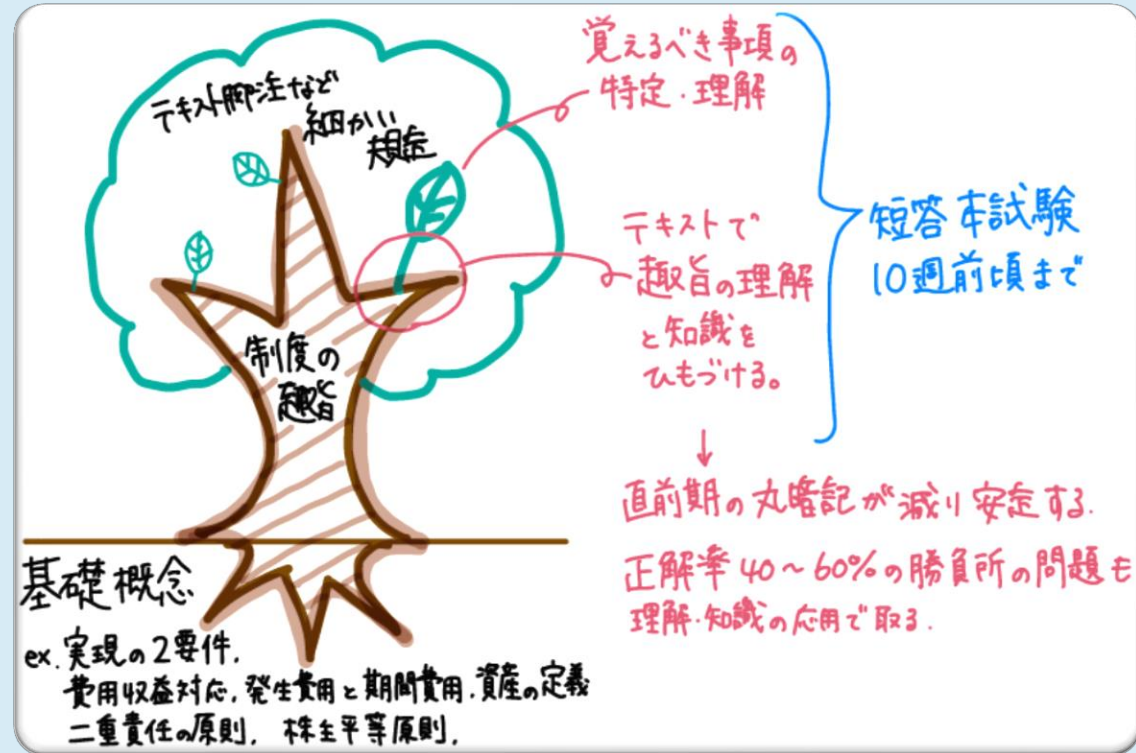
【主な内容】 管理会計論 安達講師

- ゴールを知り、逆算する(スケジュール、講義回数、科目間のバランス・学習環境等)
- 計算力を付ける(計算ミス分析と対策)
- 理論科目 納得感を重視した復習

【今回の配付資料一覧】

- ① ホームルーム_スライド(このレジュメ)
- ② 合格者からのメッセージ集
- ③ 論文式本試験答案 抜粋
- ④ 合格カレンダー2022年11月~2024年10月

本セミナーは、後日、web school「講座からのお知らせ欄」にて動画・資料をアーカイブ配信します。
次回以降のホームルームは、3月・7月・9月末頃を予定しています。



【24目標公式LINE開始】

LINEID検索:「@24tac」



本日の内容

はじめに お知らせ(公式LINE/重要事項掲載場所) 3・4

入門期のポイント 5

ゴールを知り、逆算する 学習環境を整える

スケジュールの目安 6・7

各科目 短答までの講義回数 8

科目間のバランス 9

スケジュール管理 合格カレンダーの使い方 10

学習環境を整える(場所・時間、相談環境等) 11-13

モチベーション・体調/メンタル管理について 14-15

計算力を付ける

 財務計算 16

 管理会計論 17・18

ミスの分析(インプット不足・時間切れ・やらかしミス) 19-23

理論科目 納得感を重視した復習

企業法 24・25

財務理論 26

監査論 27

その他の事前質問・回答・リアルタイム質問抜粋 28-32

【別途配布資料】

合格者からのメッセージ集・論文式本試験答案 抜粋・合格カレンダー



■通信生も、会員証を持参のみで会場受験可能(スクーリング制度。回数上限有り)

12:17

目標年度・状況ごとに別アカウントで、
以下の内容をお知らせ。

- 本試験関連情報
- セミナー・相談会等 実施情報
- 主な講義/答練日程の公表
(日程変更については、
別途メール通知サービスをご利用ください。)
- よくいただくご質問
- 模試の平均点速報
- 直前期・当日の注意点等

▶ Twitter @hirabayashi_tac

24目標 公式LINE
LINEID検索:「@24tac」



重要事項の掲載場所/内容(公式LINE以外)

受講生サイト「@C.P.A」



受講生サイト@C.P.A.

- 講義日程 ● 質問コーナー日程表
- 個別相談予約・日程表
- 本試験解答速報等
- 合格体験記※匿名の体験記は本日の配付資料「メッセージ集」



合格体験記・合格者の声

Web school

- トップページ …… ● Zoom質問コーナー(予約不要)
- 「講座からのお知らせ欄」(毎週check!もしくは上記公式LINE登録)
- 「学習フォロー」… ● 教材(進度表、出題範囲表、論点チェックリスト等)
- 質問メール ● 正誤表
- 「学習記録」…… ● 成績表

Twitter

TAC公認会計士講座Twitter https://twitter.com/tac_cpa

TAC関西会計士Twitter <https://twitter.com/TACwestCPA>

TAC講師 Twitter リスト <https://twitter.com/i/lists/1473831538869796864>



会計士講座
Twitter



TAC関西会計士
Twitter



TAC会計士講座
講師Twitterリスト

入門・BM期のポイント

1. ゴールを知り、**逆算**する。学習環境を整え、定期的に問題演習・分析・相談を行う。

短期目標・・・毎回のミニテスト(満点を目指す)

詳細・・・スライドp.6～15

実力テスト(財務は7割超え、管理は90点超えを目指す)

中期目標・・・年末・5月GW頃や、各科目の上級講義開始時期

講義受講・復習(特に計算トレーニング・テキスト)について、
自分なりに積み残しのない状態にする。

★未受験の実力テストがあれば、
受験・提出する。

(全国模試以外は、締切を過ぎても
採点・成績反映される。)

※1.5年コースの場合、財計上級は7月頃～、管理上級は6月頃～。理論科目は、2年コースと合流。

2. 財務・管理の**計算力**を付ける。

★自分にとって「少し背伸びしたら解けるレベルの問題」を解く。
難易度が高過ぎると感じたら、補助としてテキストを見つつ取り組む。

トレーニング・テキスト例題について、スラスラ・ストレスなく解ける状態にする。**場合分けを整理。**

間違った箇所・解答時にストレスを感じた箇所については、テキストに必ず立ち返る。

解けなかった原因を言語化する(インプット不足・時間切れ・やらかしミス)。

詳細・・・スライドp.16～23

3. 理論科目は、**納得感**を重視する。

★細かい結論・知識暗記よりも、全体像・理屈を意識。
短答直前期の暗記の負担を軽くする。

テキストの内容について、**具体例をイメージ**しながらざっくり説明できるようにする。

テキストを想起するきっかけとして、問題集などアウトプット教材を使う。

出やすい箇所・出題のされ方を知る。問題を解いたら、周辺論点まで想起。

詳細・・・スライドp.24～27

12月短答までの大まかなスケジュールとポイント

10月
11月
12月
2023年
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

**Input
強化**
講義受講
理解強化

**output
強化**
問題演習
分析

財務計算は、
実力テスト2週間後に
ミニテストをまとめて解き直す。
大きく忘れていた論点、
苦手な論点を洗い出す。

年々年始
● 年内に学習した内容を年末総復習
テキスト・トレーニング・
実力テスト・パワーアップ問題
● できるだけ講義の進捗ずれを調整

★ゴールを知り、逆算する。
学習環境を整え、定期的の問題演習・分析・相談。

★計算科目の解法プロセスについて、
場合分けて説明できるか?を意識する。

基礎マスター期

財務計算 トレーニング+テキスト例題がスラスラ解けるように。
管理会計論 テキストの重要事項を覚えつつ、
自信を持ってトレーニングが解けるように。

2月頃
5月短答
出願

2月頃～
財務理論
講義開始

4月頃～
監査論
講義開始

★問題集などのアウトプットを通じて、
インプットの穴・不足している力を特定。
問題を解いたら周辺を想起。

★今後の方針・不足している力の伸ばし方を確認したい場合や、
進捗がずれた際には、講師に相談。

5月末 短答式本試験(試し受験)

既習範囲の総復習として、受験。特に財務計算・管理会計論。本試験当日の流れを把握。

(6月 日商簿記検定I級)

財務・管理の既習範囲(BM、上級講義一部)の総復習として、受験してもOK。財務はパワーアップ問題や実力テストを活用。

7・8月
財務理論講義
週2回の週有り

★問題集、アクセス、
答練・模試で、
時間配分
やらかし対策
文章正誤判断等
を練習。

7月半ば頃～

**財計・管理
短答
アクセス答練
全15回
(各週1回)**

正確性・スピードの
向上/維持のため、
計算アクセスは回転教材
として繰り返し解く。
★網羅性はテキストで確保

基礎答練は出題範囲あり。
難易度も易しい。
理論科目は前半のみ、
計算は基礎マスター範囲。

8月下旬頃 短答基礎答練①

理論科目
短答
アクセス答練
全5回

9月半ば頃
短答基礎答練②

直前答練からは、
本試験レベルの難易度
(もしくは本試験以上)。

10月上旬・半ば頃 短答直前答練①

模試当日が本試験でも
構わない状態が理想。

10月末/11月上旬頃 短答直前答練②

11月20日頃 短答全国公開模試

11月末頃 短答直前答練③

※ 模試前に完璧に覚えたものも、3週間放置すると抜けてしまう。
知識・記憶が新鮮な状態になるように再度点検。

★計算科目のアクセスが、
9月末で一段落。
その後は
トレーニングではなく、
アクセスの解き直しと、
周辺のテキスト確認により、
2週間以内論点1周。
⇒計算の自習時間が減らせる。
理論科目の比重を増やす。

回転期

まずは重要かつ苦手な
箇所をおさえていく。
得意な箇所も、
2週間以内には確認など。

★本試験まで毎日アウトプット練習を適宜継続。
重要事項を覚えているか、サンプルテスト。
正誤判断の感覚を鈍らせない。周辺を想起。
★計算はやらかし対策のため、
ほどよく忘れた問題も1問解くなど。

★結論暗記&計算メンテナンス。
特に最後の2週間は、
計算科目の論点1周を意識。

12月上旬日曜日 短答式本試験

参考：12月短答以降のスケジュール目安

※詳細は12月短答後ホームルームで説明

12月
2024年
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月

2月頃
5月短答
出願

Input
強化

基礎的な概念を
理解し、
口頭で説明できる
状態に。

12月短答後～
租税法・選択科目
講義受講開始

Output
強化

問題文の読み取りと
素直な答え方、
部分点の取り方、
時間配分等を
身に付ける。

正確性
・
スピード強化。

各種問題集・答練の
ほか、論文対策講義
を活用。

財務 計算
・
管理会計論
アクセス
前半

論文
基礎答練
3回

★問題文の読み取り、
問への素直な答え方
を身に付ける

・

応用答練
2回

★部分点の取り方、
時間配分の練習等

★全科目、テキストを大事に。
★論文アクセス・基礎/応用答練は**範囲指定あり**。
準備して受験し、足りない力を分析。

★問題集・答練等のアウトプットを通じて、
インプットの穴/不足している力を特定。
問題を解く&周辺想起。

※5月短答を受験する場合

1・2月末には短答科目の講義を終わらせる。
3月後半から短答直前答練開始。

4月からは、短答向けの結論暗記のため、
論述対策や租税法/選択科目はストップ。

4月末 論文公開模試 第1回

理論補強答練1・2

5月下旬日曜日 5月短答式試験

論文直前講義 各1回

財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2

6月末 論文公開模試 第2回

論文直前答練 3 (監査企業のみ4回目あり)

回転期

会計学計算・・・2週間以内に論点1周、
その他は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。

8月下旬 金土日 論文式試験

短答式試験までの講義回数目安

※下記の上級講義等回数は23目標参考値
※「BM」…基礎マスターの略

BM+上級講義 合計

財務計算 入門Ⅰ…10回+補講1回、入門Ⅱ…5回
BM…全56回 (BMⅠ全15回、BMⅡ全17回、BMⅢ全12回、BMⅣ全12回)
上級…12回+補講3回ほど

管理会計論 入門…9回、基礎マスター…21回、上級…13回ほど

財務理論 基礎マスター…16回(2023年2月頃～)、上級…19回ほど

企業法 基礎マスター…26回、上級…16回ほど ※BM・上級講義でテキストを2周

監査論 基礎マスター…5回(2023年4月頃～)、上級…15回ほど

※BM・上級講義でテキストを2周

財務計算 71回

管理会計論 34回

財務理論 35回

企業法 42回

監査論 20回

【講義受講の目安】

短答式試験の2・3ヶ月前頃までに、上記基礎マスター・上級講義の受講を終了させる。

基本のテキスト/問題集について、復習が多少不完全でも一通り終える。

8月末に短答基礎答練があるため、上級講義受講を半分ほどは終えておきたい。

※12月短答以降

租税法 基礎マスター…7回、上級講義20回ほど(うち計算24回分、理論3回分) 合計27回ほど

経営学 基礎マスター…10回、上級講義(理論) 合計17回ほど

科目間のバランス・使用教材・復習ペース《入門・BM期》

自習時間 配分例（講義以外）

財務計算	55～70%
管理会計論	10～25%
企業法	3～10%
財務理論 （2月頃～）	5～15%
監査論 （4月頃～）	2～10%

使用教材

トレーニング・テキスト・ミニテスト・ 実力テスト・パワーアップ問題・過去問集
トレーニング（詰まったら例題集）・テキスト
テキスト太枠・図・講義中のメモ書き、 ミニテスト、短答問題集（特に★付きのA）
章扉word・テキスト目次・テキスト・短答式確認問題・ 論文式確認問題（テキスト想起のきっかけとして）
重要コンセプト・学習上のポイント・テキスト・ 短答問題集

参考：社会人受験生の配分例

平日30分～2時間 休日3～5時間
平日15分～1時間 休日1～3時間
5分～15分（毎日又は2日に1度）
10分～30分 休日1～2時間
5分～10分（毎日又は2・3日に1度）

★平日にまとまった時間が取れない分、
こまめの場合分けて計算処理を想起。

- 復習所要時間のイメージ・・・1週間に受講した講義に対して、
計算科目は概ね1～3倍の復習時間（理論科目は0.5～2倍など）。
- 自習時間の15～40%などを数週間前の講義内容の復習（実力テストの準備、終わった基礎マスター範囲）に充てる。
曜日・時間帯を決めるのも◎。忘れていた論点の洗い出しにはミニテストを活用。

※2023年7月頃～ 短答基礎答練（8月末）に向けた総復習開始と共に、理論科目の自習時間を徐々に増やしていく。
※短答2ヶ月前頃からは、計算問題演習はトレーニングではなくアクセス（全15回）を活用して、計算の自習時間を圧縮。
自習時間のうち財務計算15～20%（苦手なら25%など）、管理会計論15%～18%、
財務理論20～25%、企業法20～25%、監査論18～20%とするイメージ（状況による）。

合格カレンダーの活用

★本セミナーアーカイブ時、PDFファイルとExcelファイル双方を共有。
少し先の予定・目標は、付箋メモを活用。

【2022年11月～2023年2月 予定表】

“ぜったい合格してみせる！”

11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
午前																															
午後																															
夜																															
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
午前																															
午後																															
夜																															
1月																															
曜日																															
午前																															
午後																															
夜																															
2月																															
曜日																															
午前																															
午後																															
夜																															

- 1・2週間ごとの目標を付箋で記入。
次回のミニテスト・実力テストから逆算して復習。
- 復習の予定はシャープペンで書き込み、遂行。
大きくずれてきた場合は修正。
日曜日などにバッファー(予備日)を設定。
- 大学の試験期間や仕事の繁忙期でも、
講義と財計・管理の復習時間は確保する。

★大学生の場合、大学の講義と同じ扱いで、
曜日・時間帯を決めて会計士受験の講義・復習を
あらかじめ時間割に入れる。

ex. 水道橋校

【通信生の場合】 HPの配信日程表、校舎ライブ授業の日程表や、23目標の日程表をスケジュールの目安として活用する。
昨年度の講義日程 確認方法

「@C.P.A.」▶「講義日程」▶ 2023合格目標コース▶ [入門期・基礎期][上級期] ※「上級本科生」は受験経験者向け

学習環境を整える

★自分の「やる気」「モチベーション」を当てにせず、
「やる気がなくても自然と取り組める」ように各種環境を作る。
学習サイクルが自然と回り始める。

勉強場所や時間帯等をリストアップして試す。特にしっくりくる環境を定番化する。

- 場所... 自習室/図書館/カフェ/大学/電車/自宅(リビング/自室/ベランダ/風呂など)
- 時間帯... 朝/午前/昼/午後/夕方/夜/移動時
- 相談環境... 講師(対面/zoom) /チューター(対面) /合格者【注意点】本試験は、毎年大きく傾向が変わる。できるだけ講師・チューターへ。
- ネットとの付き合い方... スマホは移動時やリラックスタイムに/自習室に着いたらロッカーに入れる/
自宅に置いて外出/リビングに置く/日中は箱に入れて鍵を閉める
- 体調・メンタル面... 睡眠 /定期的な運動 /前に進んでいる感覚を作る /就職サポートで相談

通信生の場合

可能であれば、定期的に校舎で自習や、スクーリング制度を使ってテスト受験。交流会参加。他の受験生の様子を知る。

社会人受験生の場合

想起・言語化による復習方法を活用する。**机が使える時は計算演習。**

また、監査法人の短答合格前採用(トレーニー・監査補助スタッフ)・会計事務所への転職や、
週の勤務日数を減らす・休職/退職して受験に専念する選択肢も。**就職サポートで一度相談(p.13)。**

★校舎の質問コーナーの方が、**zoom**よりも比較的空いています。
近くにお住まいの方は（通信生の方も含めて）、ぜひ校舎質問コーナーをご利用いただければ幸いです。



TAC公認会計士講座 【関東地区 質問・相談コーナー】 9月予定表 確定版

[illegible]

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから
待機室へ（ビデオオフでOK。スマホからも接続可能）



毎週土曜日13時～次週1週間分をネット予約受付▶

※通常の質問コーナー（予約不要）でも、
学習全般の質問を各講師が承ります。



Web予約システム



個別成績・学習相談日程
(受講生HP「@C.P.A」)

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、
下記について相談可能。

- 一般事業会社への就職・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合の、エントリーシートの添削等

フリーダイヤル【予約不要】0120-527-699(平日14~17時)
メール counselor@tac-school.co.jp

★Web予約システムの他、
メールで希望日時(平日午後、平日夜・土日など)を
伝えていただいて、日程調整の上、
zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職相談 Web予約システム



モチベーションについて

Q.モチベーションを上げるコツを教えてください。

なんとなくやる気が出ず、全く勉強出来ない期間があったりします。

A.

- モチベーションに関わらず勉強を開始できる、**ルーティーン・仕組み**を作る。
ex.最初に取り組む問題・ページを、前日夜のうちに開いておく。
- 学習時間ではなく、解いた問題やページ数で進捗を図る。
- モチベーションが下がり過ぎないように、**体調管理やネットとの距離**に留意。
- 体調が今ひとつな時にやることを決めておく。
 - 作業系勉強。ミニテストなど**簡単な計算問題**を解く(作業興奮を活用)。
 - 机を使わず勉強(散歩や筋トレをしながらなど)。
 - zoom/校舎質問コーナーを活用。理解確認・やることを明確化。
 - 睡眠時間を1時間ほど長くしてみる。

★モチベーションが高い状態や前向きな気持ちで長時間集中できるような状態は、たまに訪れたらラッキー、という程度に捉える。**自分の「やる気」をいい意味であてにしない。**
午前中・夕方は、比較的集中力が高くなる傾向有り。

体調・メンタル管理について

- 睡眠を大事にする。
- しんどくなったら上を向き、天井を見つめてじっとする。
ネガティブな思考を切り上げられる。
- 口癖や表情筋、姿勢で感情をコントロールする。
少し口角を上げるようにする。肩甲骨を緩める。
- 紙に不安なことを全部書き出す。
書き出したものを眺め、長年の友達から相談を受けたと思って、客観的なアドバイスを考えてみる。
- 質問コーナー・就職サポートで講師・チューターに相談(p.12・13)。

★ テスト・答練のA～E判定は、かなり厳しく付けている。凹まず最後まで食らいついていくこと。
最後の模試でE判定や総合4割程の場合でも、
不足している力の分析・最後の猛烈な追い込みにより、逆転合格するケースが毎年多い。

財務計算 復習方法具体例

output



まずは実際に問題を解く。

ex. 「今日はテキストIに取り組もう」

→ トレーニング①のうち、解けなかった問題

(詰まったら、テキストを確認。苦手な論点洗い出しに、ミニテスト活用。)

input



- 正解できなかった場合、原因を言語化。
- 解いた論点の**周辺分野を想起**。
他にどんな処理方法があったか？場合分けて思い出す。
- テキストで、**アウトプット時に触れなかった論点も含めて**ざっと点検。段階損益・B/S区分など。

慣れると20分ほどで1日1冊確認など。電卓は叩かない。

※4~6回など解いてスラスラ解ける・数字を覚えたトレーニング問題は、順次卒業。過去問集などへ移行。
気になったら、付箋を貼っておき、間を空けて後日解く(付箋に1ヶ月後の日付を予め入れるなど)。
網羅性はテキストで確保する。近日配付される、パワーアップ問題(総合問題形式)も活用。

管理会計論 (計算/理論) 復習方法具体例

★基礎マスター期までは
正確性を意識。

input



- テキスト目次を見て、処理の場合分けを想起。
ex. 作業層の処理…2パターン
- 言葉の意味、計算目的・長所/短所、計算処理の場合分けを意識して、
テキスト本文・脚注を丁寧に確認。



output



その日もしくは前日テキストを確認した単元について、
トレーニングを解く。詰まったら、テキスト又は例題集を補助として取り組む。

問題を解いたら、テキストの周辺知識想起。

解けなかった場合は、テキストのどこを覚えられていなかったか? など言語化。

毎回のミニテストで満点、実力テストは90点以上を目指して取り組む。

今の時期によくいただくご質問（管理会計 初見対策）

Q. 初見の問題が解けません。解説を見ると理解はできます。

A.【考えられる原因】 ★計算処理に必要な数値・資料を、自分から取りに行けるように。

インプット面

- 論点・計算処理ではなく、
解き慣れた問題の「使う数字や資料の位置」で覚えてしまっている。
- 「わからない時だけ」テキストに戻っている。
⇒ ● **テキストのどの部分が思い出せなかったのか？**言語化する。
 - テキスト目次を見て、言葉の意味や、**計算処理を説明**できるかこまめに試す。
 - 自信を持って解けるようになっているか？テキストを覚えられているか？
2週間後などに実際に解き直して試す。

アウトプット面

- 時間切れ
- 電卓ミス・転記ミスなどが生じている。
⇒ ● **処理を思い出すスピード**を速くする。
 - 下書きを広く使う、3色ペンを使う、指差し確認などやらかし対策。

計算科目のミス分析について

- Q. 計算問題について、目標点数になかなか届きません。
間違えた問題について、どのように復習すればよいのでしょうか。
- Q. 解説を見たら全て理解はできますが、初見で正解ができません。

A. 「なぜ初見で解けなかったか？」
特に、難易度の易しい問題について、
一問ずつ**徹底的に原因分析**をしましょう。

主な原因

1. インプット不足(覚えていない、メンテナンス不足)
2. 時間切れ(時間配分ミス・スピード不足)
3. やらかしミス

難易度Bの問題 ……どんな理解があれば正解までたどりつけたか？
なぜ難易度Bになっているか？分析(手間？論点の難しさ?)。

間違えた問題だけでなく、正解した問題についても復習。

参考: 会計人コースweb記事「3つのミス分析で“計算力”を高めよう！」

<https://kaikeijin-course.jp/2022/10/07/53686/>

主な原因① インプット不足

(覚えていない、メンテナンス不足)

ex. 「仮にテキストを見ながらであれば、正解できた。」

「元々得意な論点だったが、
久しぶりに触れたら細かい知識・計算処理が抜けていた。」



- 自習時、問題を解いた後に、
他の処理パターン・周辺知識まで想起。
- 定期的にテキスト点検。 網羅的かつ正確な知識⇒初見で正解できる
- 答練・本試験前のピーク合わせ (概ね10日～長くても14日以内論点1周など)。

実力テストの1.2週間前から1周し直す。

★会計士試験は試験科目が多く範囲も広いため、
自分の記憶力をあてにしないことが重要。

主な原因② 時間切れ (時間配分ミス・スピード不足)

ex.「もう少し時間があれば、自力で正解できた。」

- 時間配分を見直す。以下の2つは「一旦飛ばす」(特に管理会計論)。

① 筋道が明確に立てられない難解な問題

② 作業量が多い問題(親会社株主に帰属する純利益)

数字が合わない場合、一つの問題に執着しない。

- 電卓や下書きの物理的なスピードを上げるというよりも、
計算処理を思い出すスピードを速くする。テキスト目次を見てすぐ想起できるか。

★まずは
正確性を重視。

- やらかし対策で正確性を上げる。★手戻りによる時間のロスが減る。
- 講師の下書きを参考に、「過不足」の無い下書きを目指す。普段から解法プロセスを説明できるように意識。
- 仕訳の勘定科目は、省略して書く。平仮名・カタカナ・アルファベット2文字など。

ex. 売上高…U上、売上原価…UG、売掛金…Ux、買掛金…Kx、その他有価証券評価差額金…そさ、
商品…品、仕掛品…仕x品、備品…ビヒン、建物…タテ、有価証券…有
資本金…S、その他資本剰余金…そSJ、資本準備金…Sじゅ
利益剰余金期首…り、非支配株主持分当期変動額…ひと

主な原因③ やらかしミス

ex. 「自信を持って解き、正解したと思ったが、誤りの選択肢だった。」
「電卓ミスで数字が合わなかった。」
「下書きは合っていたが転記ミスしていた。」



- 解く際の行動・作業プロセスを修正する。
- 内容に応じて、具体的な対策を立てる（次ページ参照）。
- 初見又はあまり解き慣れていない問題で、
やらかし対策を試す。 ※夕方以降など、疲れた時間帯も効果的。

★短答・論文共に、やらかしミスをいかにゼロに近づけるかが勝負。
持分比率の算定など、合否に関わるような重要な箇所は、慎重に取り組む。

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

企業法 テキスト構造と、短答式試験までに達成すべき水準の目安

1. 太枠内・図解 … 重要規定。

趣旨に納得できるか。特に、ゴシック体部分。図解を見て**具体例をイメージ**。
この規定が無いと、どのような争いが起きるか？

2. まとめ表 … 重要規定を場合分けなどでまとめたもの。

付箋を貼り、短答直前期に活用。
それぞれの状況について、**趣旨と紐付けて比較**し、納得感を持つ。**規定の強弱**に着目。
ex. なぜ原則として特別決議が必要か？また、なぜ〇〇の場合は普通決議で足りるのか？

3. 細枠や枠外の補足説明 … 理解の助け・深掘りに役立つ知識・解説。他の制度との比較など。

テキスト太枠部分や図解を中心に納得感を持てるようになってから、
2・3周目の復習時、**理解の深掘り**のため読み進めるなど。

4. 「問題の所在」「論証例」 … 主に論文論点。※短答問題集に出題されている箇所は一緒に復習。

太枠重要規定を前提として、明文規定が無い特殊な状況等について取り扱っている。
まずは、太枠・図解、まとめの表の趣旨に納得感が持てるようにする。
さらに理解の深掘りとして、「問題の所在」や図解を見て
「あ～、確かにこれはもめるな」と納得できればOK。
12月短答以降、ざっくり説明できるように順次進めていく(条文に載っている部分が多い。財理の論証優先。)

機関設計自由の原則に対する例外 (327 条、328 条) の内容・趣旨		
機関設計自由の原則の例外	条 文	趣 旨
公開会社は、取締役会を設置しなければならない。	327 条 1 項 1 号	公開会社では、株主が多数かつ変動し、株主に代わる会社統治の担い手が必要となるからである。
監査役会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。	327 条 1 項 2 号	取締役会を設置しない閉鎖な機関構造を採択した会社が、監事の選任についてだけ監査役会という異質な仕組みを採用するニーズはないから、逆に、監査役会設置会社は取締役会の設置が強制されている。
監査等委員会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。	327 条 1 項 3 号	監査等委員会設置会社は取締役会の監督機能を充たさずするという目的で新設された株式会社制度だから、取締役会の設置が強制されている。
指名委員会等設置会社は、取締役会を設置しなければならない。	327 条 1 項 4 号	指名委員会等設置会社は、三委員会が取締役会の内部機関であり、その構成と権限行使は取締役会と密接不可分だからである (400 条、401 条、406 条等)。
取締役会設置会社 (監査等委員会設置会社および指名委員会等設置会社を除く) は、監査役会を設置しなければならない。	327 条 2 項 本文	取締役会設置会社では、株主に代わって業務執行を監査する専門機関が必要であるし、また、取締役会による監督 (362 条 2 項 2 号) には自己監督の弊害がありうるからである。
ただし、非公開会社たる設計等と設置会社は、監査役会を設置しなくてもよい。	327 条 2 項	ただし、取締役会設置会社といえども、非公開会社では、株主が少数かつ変動しないから、株主による業務執行に対する監督にもある程度は期待できる。そこで、非公開会社 (100 条 1 項 2 号、101 条 1 項 2 号) については、株主

企業法 復習方法具体例

input



- まず全体的に、**テキスト太枠の趣旨**や**図解の具体例**について、納得感が持てる程度までざっくり復習。5分程度パラパラ眺めるだけでもOK。
 - テキスト論点ごとの**まとめ表**を使って複数論点比較（付箋を貼っておく）。腑に落ちないところは太枠へ戻る。
- ★短答直前期の暗記が減るように、趣旨・規定の強弱に**納得感**を持つ。

output



テキスト太枠・図解がざっくり納得できた章について、確認テストとして、上記の後を追う形で
ごく簡単な短答問題（ミニテスト又は短答問題集のA問）を使って復習を進める。※短答問題集は、★付きのA問だけなら900問ほど。
趣旨がわからない規定はテキスト確認。

テキストを横に置いて、★付きのA問の箇所をテキストまとめ表等で強調しながら進めると、丁寧に復習できる。
実力テストまでに**テキスト・ミニテスト**を1周、上級講義開始または終了までにもう1周。
短答基礎答練に向けて、短答問題集Aを1周。※B・Cは、Aが根拠を持って解けるようになってから。
特によく間違える問題は、六法にマーカーを引き、柱書・ただし書きなど条文構造を確認するのも◎。

機関設計自由の原則に対する例外（327条、328条）の内容・趣旨		
機関設計自由の原則の例外	条 文	趣 旨
公開会社は、取締役会を設置しなければならない。 （1号は次の2号以下を適用する。）	327条1項1号	公開会社では、株主が多数かつ変動し、株主による会社経営およびその監督に期待できず、株主に代わる会社統治の担い手が必要となるからである。
監査役会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327条1項2号	取締役会を設置しない簡素な機関構造を選択した会社が、監査の面についてだけ監査役会という複雑な仕組みを採用するニーズはないから、逆に、監査役会設置会社は取締役会の設置が強制されている。
監査等委員会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327条1項3号	監査等委員会設置会社は取締役会の監督機能を充実させるという目的で新設された株式会社制度だから、取締役会の設置が強制されている。
指名委員会等設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327条1項4号	指名委員会等設置会社では、三委員会は取締役会の内部機関であり、その構成上権限行使は取締役会と密接不可分だからである。（400条、401条、406条等）
取締役会設置会社（監査等委員会設置会社および指名委員会等設置会社を除く）は、監査役会を設置しなければならない。 ただし、非公開会社たる会計参与設置会社は、監査役を設置しなくてもよい。	327条2項本文 327条2項	取締役会設置会社では、株主に代わって業務執行を監査する専門機関が必要であるし、また、取締役会による監督（362条2項2号）には自己監督の弊害がありうるからである。 ただし、取締役会設置会社といえども、非公開会社では、株主が少数かつ変動しないから、株主による業務執行に対する監督にもある程度は期待できる。そこで、非公開会社

財務理論 復習方法具体例

★短答では理論科目で唯一の1問8点! (8/500点=1.6%)

論文でも、合計700点中120~140点ほどが財務理論。

財務理論を得意にするために、

財務計算のトレーニングに取り組む。

input



じっくり読みたくなったら付箋を貼り、一旦先に進み、別の時間で取り組むなど。

- テキスト章扉「word」やテキスト目次を確認し、内容やテキスト見開きのどこに書いてあるか**想起**。不明点はすぐに本文確認。
- テキスト重要論点について、**具体例や計算処理をイメージ**できるか確認。論文論点は**納得感**を持てるように。
- イメージできないところに付箋を貼り、質問。
- テキストのうち**覚えにくい結論・容認規定要件**等について、消せるペンや付箋で強調。暗記の下準備。
【よく問われる論点】
原則(「~とする。」)・容認の関係
容認処理等が認められるための**要件**の個数・内容
場合分け、P/L・B/S区分、認識時点、計上金額の算定方法(CFの見積方法、割引率、控除・加算する要素)

output



- 短答確認問題を解き、**周辺を想起**。
テキストに戻り、マークを付け、周辺の重要箇所を復習。
余裕があれば、論文式確認問題をテキスト目次や章扉「word」のように、想起のきっかけとして使う。

★詳細は3月頃のホームルームで説明。

監査論 復習方法具体例

★ テキストの内容をある程度説明できるようにする（特に章末の問題）。
復習の仕方や意識するポイントは、財務理論と概ね同様。

input



章・節扉の**重要コンセプト・学習上のポイント**やテキスト目次から、内容を**想起**。
内容やテキスト見開きのどこに書いてあるか**想起**。不明点はすぐに本文確認。
本文や講義中に触れた重要な脚注周辺について、重要な箇所から徐々に復習。



output



ざっくり理解した単元について、
テキストを横に置いて、短答問題集を解く。

出やすい箇所を把握し、テキストへマーク。周辺の復習。
出題のされ方を知る。×の理由をはっきり言えるだけでなく、正しい記述も説明。

問題を解く際に、テキスト関連ページが「見開き左下の論点だな」などよぎる状態にする。

★詳細は3月頃のホームルームで説明。

その他いただいた事前質問 ①

Q.

管理はトレーニングの前にテキスト精読.

受講→トレーニング→テキスト→トレーニング...というようなサイクルで勉強を進めていますが、改善すべき点などあれば教えてほしいです。

また、実力テストにおいて、合格を目指すにあたってどの程度の順位が目安になるのでしょうか。

まずは平均点を目指す.

上位20%以内が目標

Q.

暗記が苦手なので受験時代に取り組んでいた方法を知りたいです。

丸暗記は少ない. まず納得感. 目次などから何度も想起.

Web School 「学習記録」→成績表

Q.

論文期もキーワードなどからおさえる.

先生方は受験生の時、1日何時間くらい睡眠を取っていらっしゃいましたか？

6 ~ 8hなど. しっかり寝る.

Q.

勉強時間の記録はした方が良いでしょうか？ 勉強が習慣化できていれば特段不要.

6月から学習を始めていますが、今までの勉強時間を記録していません。

合格までの目安として記録したほうが良いのだと思いますが、

今日は○時間しか勉強できなかった、と数字に引っ張られて、

焦りやモチベーション低下したくないという気持ちがあります。

ついスマホで別のことを

してしまう場合は注意. 紙で記録
取る
など.

また、逆に、今日は○時間勉強できたから十分だろう、と数字に満足して、本質を見失う気もして怖いです。[社会人受験生]

時間より解けた問題数などを目標とする.

Q.

今年はパワーアップはないのですか？

→パワーアップ問題は教材として配布し、
代わりにミニテストの解き直し（23目標呼称「簿記スタンプラリー」）を
単元ごとに実施します。

Q.

財務会計の勉強方法が定まらず悩んでいます。
現状、新しい論点の復習に追われ、過去の復習もできていません。
毎回、実力テストでは初めて見る問題形式と資料の多さで解き切れずボロボロです。
今後さらに科目も増え、もっと難しくなると思うと恐怖です！
何か良い復習の仕方があれば教えて下さい（会社員ですが時間はどうにかします）。

ミニテストも
ランダムで解いて
テキスト復習も効果的
実際の復習で慣れればOK!
〃

Q.

例題やトレーニングを解く際に、
意識しておいた方がいいことはありますか？

~~機械的に解き直す~~
フローチャートの
今どこが問われているか？意識する。
抽象化。
テキストをあてはめる
処理プロセスの場合分け。
管理は財務よりも
さらに精度高くテキストをおさえる。

【音声での質問希望】

Q.

ミニテストの際に頭が真っ白になって解き方が分からなくなることが多く、
点数が取れません。これは勉強不足から来るものでしょうか。[社会人受験生]

時間にならぬうちに
ストップウォッチ
など

- トレ・テキストの演習不足 ... 反復（下書きを実際に書く、想起）
- 試験慣れ、焦り ... 経験を重ね、ルーティーンを決める。自習時もタイムプレッシャーを感じられるようにする。

Q. *そこまでずれていな〜ため、2・3ヶ月で追いつけるよう「少しずつ調整する」など。*

1ヶ月遅く入学した為、対面授業のペースについていけません。

ex. 財計...2週間で5回講義

授業でのインプットと問題演習によるアウトプットの比率を

管理...2週間で3回 "

どのようにしたらいいでしょうか？ [学生]

→ p.9参考

計算科目の問題演習のサイクルは重視する。

Q.

計算は講義の1〜3倍自習。

仕事や自身の体調不良により、講義や復習が溜まってしまっている状況です。

このような状況から抜け出すには、何を優先してやっていったら良いでしょうか。

ご教授いただけますと幸いです。 [社会人経験有り専念生]

財務計算講義 週2, 管理 週1 がまず目安。

計算のトレーニング・テキストの復習サイクルもまず固む。相談へ。

Q.

現在24年ロングのカリキュラムに沿って学習しているのですが、

2023年の5月短答合格を目指すことは出来ますか？

また、合格するためにどのような勉強をすればいいでしょうか。

かなり厳しい ペースも崩すと12月合格が危くなるためおすすめはできない。

特に、計算もおろそかにして理論科目の知識暗記に走らないこと (計算は5月・6月までが非常に重要)

簿記1級を取得済みの場合、23目標短期集中コースへ切り替えて狙う方法もあるので相談へ

Q.

9月からTACにお世話になっている、社会人経験無しの専念生です。
せっかくなので簿記2級及び1級の受験も考えています。そこで2点疑問があります。

①簿記2級は財務・管理BMのどこまで学習したら受験できるでしょうか？

CBT受験ができるようになったので、カリキュラムが終了し次第、
直ぐに受験しようと考えていますが、何月を目標にしたら良いか、考えあぐねています。

→簿記2級については、入門講義と財務の基礎マスター2などの復習が終了していれば、
概ね合格レベルに達します。 + 万全に対策するならBM3の税効果。 管理は入門で8.9割。

②1級は論文の腕試し的な感覚で24年の6月に受験するか、

論文の結果を見ながら24年の11月に受験するか迷っています。

どちらがいいでしょうか？

万全に対策するなら
BMは12回目 CVP分析まで

(もちろんそれ以外の受験タイミングが良いという場合もあると思いますので、
教えて頂けると幸いです。)

→簿記1級については、財務計算基礎マスター・管理会計基礎マスターで概ね範囲が完了
(一部上級範囲) し、2023年6月の実施回には概ね合格レベルに達します。

23年11月、24年6月…短答/論文直前期に入るためおそらく厳しい。

24年11月…短答に合格していたら1級は特段不要だが、計算が苦手なら受験するケースあり。

< リアルタイム Q&A 内容抜粋 >

論文の
他の科目で
出てくること
あり

Q. 経済学を選択するか迷っている.

→ 受験者が少なくハイレベルな戦いのため基本的には経営学がおすすめ.

Q. 税理士試験の簿記論・財務諸表論を受験するか

→ 計算に自信があり他の科目も余裕がある場合. 自習の一環として受けるケースあり.

Q. 短答が企業のみ. 論文を見据えた勉強などやっておいた方が
いいことはあるか

今の時期に 短答を受ける人以上に計算をやり込む!!

管理はテキスト全体像を意識.

トレ. テキスト. 実テ. パワーアップ問題

ex. テキスト章扉の見出し → 論点を思い出し, テキスト確認

財理・監査は納得感意識 計算重視!

【MEMO】